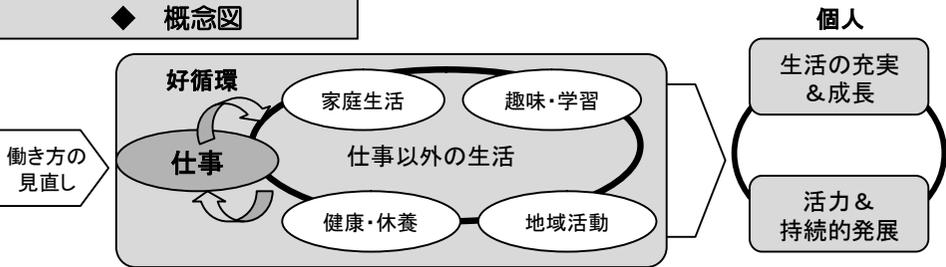


◆ ワーク・ライフ・バランスの理念

- ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と、子育てや親の介護、地域活動等の「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態を指す。
- その実現には、性別や年齢に関わらず、個人の置かれた状況に応じて、多様で柔軟な働き方が選択できるようにすることが必要
- 「仕事」か「仕事以外の生活（子育て、親の介護、自己啓発、地域活動など）」かという二者択一ではなく、両者の調和を図ることにより、「仕事」も「仕事以外の生活」も充実させようとするもの。

◆ 概念図



出典：「ワーク・ライフ・バランス実践プログラム」(東京都生活文化スポーツ局作成)より

働き方の見直し

ワーク・ライフ・バランス

支援の充実度

WLB支援と雇用機会均等の関係

	高い	低い
高い	女性の定着率が高い 男女の職域分離がない 既婚や子どもを持った女性が多い 女性管理職が多い	女性の定着率が高い 男女の職域が異なる 既婚や子どもを持った女性が多い 女性管理職が少ない
低い	女性の定着率が低い 男女の職域分離がない 既婚や子どもを持った女性が少ない 女性管理職が多い	女性の定着率が低い 男女の職域が異なる 既婚や子どもを持った女性が少ない 女性管理職が少ない

企業・社会

出典「ワーク・ライフ・バランス～仕事と子育ての両立支援～」(出版：ぎょうせい)より

◆ 企業のWLB・よくある誤解

- × **WLBは、重要な「少子化対策！」**  
→すべての社員のWLB支援が目的。少子化対策・子育て支援だけが目的ではない
  - × **WLBは、企業が従業員のために行う福祉厚生策**  
→経営状況が良い時だけでなく、変わらず職員に提供すべき基本的な事柄
  - × **WLBの目的は「労働時間の短縮」と「ほとほとどの働き方の推奨」**  
→時間生産性の向上、メリハリのある効率的な働き方の実現が目的
  - × **WLBの実現には、子育てとの両立支援策の導入が重要**  
→制度だけでなく、活用できる、受容できる職場にすることが大切
  - × **WLBの推進のためには「仕事重視」のライフスタイルを変えるべき**  
→仕事中心のライフスタイルの否定ではない。多様な働き方・価値観の受容が大切
  - × **WLBの実現にはコストがかかる**  
→コストのみを要する施策は少ない。(ベネフィット=利益 も生じる)
- 出典「ワーク・ライフ・バランス～仕事と子育ての両立支援～」(出版：ぎょうせい)より

◆ 企業の取組

- <H18 厚生労働省：ファミリー・フレンドリー企業の取組>※全国
- 育児休業制度の充実 → 過去3年間で女性の育児休業取得率100%
  - ベビーシッター費用補助、ベビーシッター緊急時確保
  - 介護休業制度の充実 → 対象家族1人につき通算12ヶ月まで取得可能
  - 「育児支援システム」や、「育児休業者職場復帰プログラム」等による育休中の情報提供とオンライン講座などの開設
  - 失効した年次有給休暇を、原則通算93日の介護休業制度に上乗せできる「ストック有給休暇」制度の導入
- <H20 東京ワークライフバランス認定企業の取組>※東京都内
- 長時間労働削減取組部門→時間外労働・出退勤のデータ管理及び社内公開など
  - 年休取得促進部門→連続休暇と手当支給のセット(パラダ休暇)など
  - 育児・介護休業制度充実部門→毎週水曜日、幼児期の子どもがいる男性社員は16時で退社できる「パパの日」など
  - 多様な勤務形態導入部門→出勤希望時間に合わせた20パターン以上のシフトを組み合わせた「複数シフト勤務制度」など

◆ 東京都の取組

- <産業労働局 取組事業>
- 普及啓発セミナーの実施
  - 普及啓発資料の発行
  - 男女平等参画調査
  - 育児・介護休業者生活資金融資制度
  - いきいき職場推進事業  
→仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向け、優れた取組を実施している中小企業を、「東京WLB認定企業」として認定する。ほか
  - 東京都次世代育成企業支援事業  
→次世代育成に積極的に取り組む企業等を「とうきょう次世代育成サポート企業」として登録
  - 中小企業両立支援推進助成金
  - 女性再就職支援事業
  - 育児離職者向け能力開発事業

- <生活文化スポーツ局 取組事業>
- 普及啓発事業(講座・研修)
  - ワーク・ライフ・バランス推進事業  
→WLB実践プログラムの作成  
WLB推進サイトの開設
  - 男女平等参画を進める会を通じた普及

- <福祉保健局 取組事業>
- 子育て応援とうきょう会議の活動  
→「子育て応援とうきょう会議」の構成団体である行政、企業、NPO、等が主体となって、社会全体で子育てを支援する気運を高めるための事業を展開
  - 子育て応援サイトの開設

※ WLB=Work Life Balance の略